

豊中市議会議員(保守系市民派・無所属)

福岡まさき

平成22年6月 後援会事務局発行

市政だより

六月臨時号

**平成22年度の「議会体制」が決定 ～ 私の役割は～**

平成22年5月議会が24日から始まり6月2日に閉会しました。まず最初に市長が二期目の就任挨拶をし、損害賠償にかかる専決処分、歳入歳出予算の補正や条例の一部改正などを終え、議長、副議長をはじめ、各議員の所属委員会を決める役員選挙が実施されました。

第72代議長には喜多正顕議員(自民党)副議長には中野修議員(市民クラブ)が選出され、各議員の所属常任委員会や各種役員が決定されました。

「福岡まさき」の所属委員会◇ **総務常任委員会** [委員]

(所掌部門)…行財政債権対策室・危機管理室・総務部・人権文化部・政策企画部・財務部
市民生活部・会計室・選挙管理委員会・公平委員会・監査委員・農業委員会・消防本部

◇ **議会報編集委員会** [委員]

広報「とよなか」の中で「市議会のうごき」を正確かつ分かりやすくお伝えするため議会事務局と連携して取り組んでいます。

◎ **空港問題調査特別委員会** [委員長]

空港問題の経緯…大阪国際空港については、廃港、存続、活性化とさまざまな議論がされてきました。豊中市の立場は市長はもちろん、市議会では36名全員が3月議会で存続決議を行いました。さらに、航空機騒音に反対してきた「航対連」においても廃港には否定的です。

今後の動きは…全国でも珍しい黒字空港の利点を活かし、高次都市機能を有した国際空港として引き続き騒音対策・安全対策にも万全を期した空港の再生が求められます。

しかし、国は伊丹を株式会社化し関空との経営統合の後、運営権の民間売却など状況は流動的に推移しています。

雨にも、風にも
圧力にも負けず…



「新政とよなか」議員団控え室

〒561-8501

豊中市中桜塚3丁目1番1号

TEL 6858-2620 (直通)

FAX 6852-2384

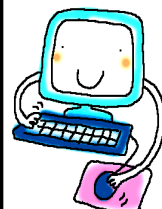
自宅

〒560-0082

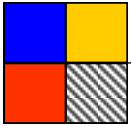
豊中市新千里東町2-7 C27-1109

TEL 6833-7705

FAX 6831-1281

福岡正輝 ホームページもごらんください<http://www.fukuokamasaki.com>又は (ヤフー又はグーグルの福岡正輝で検索)

※日常の活動や政治信条、市政の裏話など報告しています。
また、「市政だより」に掲載できない詳細部分はブログで公開しています。



「福岡まさき」の

活動日記

3月23日 青パト乗車

今日は、地域防犯役員として青パトに乗車しました。朝8時30分に出発し、豊中警察で車両を受け取り、9時過ぎから昼まで地元でパトロール。新千里東町、北町、上新田の3つの町を時速10~20キロで、防犯の呼びかけを放送しながら回ります。青パト乗車では短時間に多くの方に注意喚起出来るため、歩いて回るパトロールとは違った効果もあります。

こうした取り組みは多くのボランティアでなりたっており、そのお陰か豊中のひたくりはびっくりするほど少なくなり、先月はたったの1件でした。

地域の安心・安全は警察だけに頼ってはいけません。この10年間、特に地域では様々な取り組みが実施され、犯罪の少ない町として定着してきました。こうした現実も地域力の証明と言えるかもしれません。

私の一日はブログの更新で終了。一日を振り返り、書くことで気持ちの整理ができます。ところが、書きたいことが次々出てくると、整理するどころか頭が冴えわたり眠れなくなることもしばしば。皆さんにお伝えしたいことが山ほどある中のほんの一部を紹介します。

4月9日「豊中レッドローズ」設立

この日は、「市政だより35号」でもお知らせした硬式野球チーム「豊中レッドローズ」関係者の表敬訪問をうけ面談しました。

来庁されたのは監督の仲田幸司氏(元阪神タイガース)、コーチの南淵時高氏(元千葉ロッテマリーンズ)、ゼネラルマネージャーの町本隆一氏の3名。

高校野球発祥の地である豊中市をフランチャイズにするチームでより強く、そして人気のあるチームとするため、元プロ野球選手が立ち上がりました。

本格的な指導のもと、プロ野球志願者の育成はもちろん、野球教室、講演会の開催やイベント等、野球を中心とした活動を通じて、地域の活性化に貢献する地域密着型の市民球団を目指しています。

私と所属する会派が協力して市民球団として活動できるようお手伝いしたいと考えています。特に少年野球チームや地元商店会、地元企業との連携は望むところです。

「福岡まさき」をもっと知って！

福岡正輝

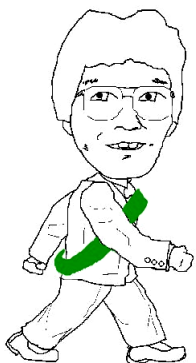
検索

さらに

ブログは一方的になりがちです。
防犯タスキをかけて歩く
「福岡まさき」を見つけたら、
声をかけてください。
皆さんの声を待っています

3月~4月

- 3月 15日…委員会報告
- 3月 21日…多忙な日々
- 4月 18日…タケノコまつり
- 4月 27日…民主主義のコスト
- 4月 29日…今日は何の日





「いろいろブログ」



5月12日 「学校教育審議会」

教育改革に取り組む教育委員会は、この日の審議会で「学校の適正規模と通学区のあり方」と題して大規模校が十一中と上野小、小規模校が八中と南丘小の計4校の校長先生からヒアリングを実施しました。各先生方からは、利点よりもデメリットのほうが多く、早期の改善が要望され、具体的提案も出されました。

一方、審議委員からはこれまでの場当たり対応や問題先送りの体質が現在の混乱を招いた、教委は腹をくくって取り組む必要があるとの厳しい指摘も。

これに対し最後に引き取った教育長から、「様々な抵抗や問題があるかもしれない。しかし、覚悟の上で諮問しておりしっかりやる」との決意が…

(詳細は電子版ブログで)

5月26日 製薬「2010年問題」

製薬業界の「2010年問題」が到来。新薬の特許切れで有力なジェネリック医薬品が薬価収載の見込みです。これまで市立豊中病院のジェネリック医薬品使用比率向上を働きかけ、現院長の努力もあって大幅に向上しました。しかし、まだまだ国際比較はもちろん国内平均にも及びません。患者負担の軽減やDPC(診断群別定額支払い方式)が進む中、病院経営にもプラスになる使用率向上が「2010年問題」を契機に研究と取組み拡大を期待したいと思います。

一方で、産業振興条例制定や開発手続きワンストップ化に取り組んだ私としては、市内に移転統合され実質条例適用第一号のS製薬新薬研究所(1,000人規模)が「2010年問題」で影響を受けることにもなり、利益相反の状況に複雑な思いがしています。

この上は、S製薬の新薬研究の成果や業績拡大で豊中市への貢献も期待したい。

5月～6月

- 5月 2日 … 驚愕スコアで大逆転
- 5月 9日 … 淡路島日帰り旅行
- 5月15日 … 学校耐震化を急げ
- 5月17日 … 浅利市政二期目のスタート
- 5月22日 … 国際チャーター便
- 6月 2日 … 22年度議会体制決定
- 6月 5日 … 久しぶりの「街宣活動」

5月28日 いろいろと話題あり

▼通所介護施設のNPO法人総会に来賓として出席。しかし、母がこの施設のデイサービスを週3回受けており、利用者家族の一人としての参加でもあります。挨拶の中で、母がこの施設に来る日をどれほど楽しみにしているかの話とスタッフの方々のきめ細かいお世話に感謝の言葉を述べました。福祉の現場をより深く知ることにより、市の施策にいろいろ活かしていければと考えています。

また、参加者から出た老後の安心・安定居住に関しても現政権が打ち出した公営および公的住宅の福祉関連施設導入補助制度をしっかりと研究し、具現化したいと考えています。

▼28日午前は、豊中警察と地域防犯が連携した「ひたたくり防止キャンペーン」に地域防犯役員として参加し、関連グッズの配布とともにひたたくり防止を呼びかけました。最近では地元は勿論、豊中市内でも殆ど被害が発生しておらず、啓発の効果が確実に出ているようです。

▼その後しばらくぶりに私の母を伴って、義母の見舞いに京都(丹波)へ出かけました。この日の母はいたって体調がよく、「貴方はまだまだ若いんだから元気だして頑張ってくださいよ」の言葉。99歳が87歳にかけた励ましに、ほんわかとした空気が流れたひと時でした。



ほっと一息

今年度も確実な成果として応えます！

私の考える「役に立つ」議員とは？

- ① 市民相談や地域の「まちづくり」に積極的に取り組み、市民や地域に貢献できること。
- ② 一般会計1.282億円、企業・特別会計1.217億円、合計2.499億円に上る豊中市の予算を精査・検討し、議会人としてチェック機能を果たすこと。
- ③ 豊中市の都市経営に積極的に取り組み、政策の提言、アイデアの提供、条例の制定や改正に自ら関わり、税収の確保や雇用の拡大、市民福祉の拡充に貢献するとともに次世代に魅力ある豊中市を引き渡すこと。

市政や議員に厳しい目を！



市民の幸せや市の発展に貢献することが議員や職員の使命です。上記①は議員として当然の活動で市民はボランティアで取り組んでいる内容です。

- ①②の実現ではじめて議員として及第点？
- ③までの取り組みで議員の職責を果たす。

▼ 議員に問いかけてください ▼

あなたは何を考え議会に何を届けたのか、そのうち何が実現し市民の利益や市政の発展に役立ったのか。



パフォーマンスや言葉
に惑わされることなく
厳しくチェック！

仕分け対象にならないよう頑張ります

今後の取り組みは？

空港を活かしたまちづくり

- 長距離便(北海道、沖縄等)の増発や近距離国際チャーター便の復活、将来のアジア各国への定期便の就航を目指し、真の国際空港へ。
- 膨大な空港周辺移転跡地は市にとって貴重な企業誘致の種地。商工会議所等との連携で高度な利用を目指し、地区計画や産業振興条例改正の取り組み。

教育文化都市の再生へ

- 公教育への魅力づくりと全市的校区配置の見直しと調整。

地域主権のまちづくり

- 地域のことは地域住民が一番分かっている。この当たり前のことを千里ニュータウンの一つの町で先進モデルとして取り組んでいます。税の有効利用や特定団体の圧力を排除するルール化で地域力の向上が期待できます。

・・言いたい放題・・

相変わらずの政治の混迷に国民はうんざり。

首相退陣にいたる経過は悲劇を通り越しむしろ喜劇にさえ映る。一連の普天間問題では国益を損ね沖縄県民に期待させた分罪は重い。

大部分の国民は現在の民主主義、資本主義体制を支持するも一方の雄自民党に支持は帰っていない。今更、世界中で失敗した一党独裁や個人崇拜体制の影響はご免で、そこに国民の不安と苛立ちがある。

これまでも民主党各級議員と接する機会は多いが有能な議員は実に多い。今回、菅総理が実現したが、総理と民主党は最後のチャンスとして国民の信頼回復に努めてほしい。それにしても選挙となると候補者決定やその戦術に言いようのない寂しさを感じる。あえて批判を覚悟で物申せば「国民にも責任の一端が…」。